

看護師国試合格  
チャレンジテスト

看護師国試合格  
必修問題チャレンジテスト

看護師国試合格  
基礎学力UPチャレンジテスト

## 圧倒的シェア No.1。選ばれる国試模試

問題の正確さ、判定の確実さなどから多くの学校様よりご支持をいただいている学研の模試「看護師国試合格チャレンジテスト」。おかげさまで、年間申込者数94,000人（3回のべ）の全国最大級模試に成長いたしました。

## 母集団の大きさは、合否判定の正確さにつながる

下の表をご覧ください。看護師国家試験の「一般・状況設定」問題の合格基準点は毎年変動する一方、合格率は90%でほぼ一定となっています。

ここからわかるのは、模試の結果から本番の合格を判断する際に重要なのは、点数（絶対評価）ではなく偏差値（相対評価）である、ということです。

母集団が国家試験に最も近い当模試を受験することで、自分の合格までの距離をしっかりと掴むことができます。

表：看護師国家試験の合格率と合格基準の推移

	第104回	第105回	第106回	第107回
受験者数	60,947	62,154	62,534	64,488
合格者数	54,871	55,585	55,367	58,682
合格率	90.0%	89.4%	88.5%	91.0%
合格基準 <sup>*1</sup>	①必修問題 40点以上/50点	40点以上/49点	40点以上/50点	39点以上/48点
	②一般・状況設定問題 159点以上/248点	151点以上/247点	142点以上/248点	154点以上/247点

\*1 必修問題および一般問題を1問1点、状況設定問題を1問2点とし、①～②のすべてを満たす者を合格とする。  
\*2 2019年2月現在。第108回以降の合格率は大きく変動する可能性があります。

## 選ばれている「学研」の信頼と実績



学研グループは、創業者・古岡秀人の「戦後の復興は教育をおいてはかれない」という信念のもと、1946年の創業以来70余年にわたり、「学習」や「科学」、学習参考書や辞典等を出版し、日本の教育を支えてまいりました。そして、これまでに培った知見をもとに、現在「教育」と「医療福祉」の2つの領域を中心として、お客様が主役のモノづくり、コトづくりを推進しています。学研グループは、「教育・医療福祉」のリーディングカンパニーとして、日本中・世界中の人々が、心ゆたかに生きる社会の実現に邁進してまいります。

学研のチャレンジテストは、  
全国最大級の受験人数を誇る  
看護師国家試験対策模試です！



## 近年の出題傾向に完全対応

毎年国家試験の動向を分析し、これを反映して類似した内容、頻出した項目から今後の出題傾向を予測した出題をしております。

問題検討委員会の先生方からも出題内容の精査・アドバイスをいただいており、国家試験に最も近い内容の模擬試験であるとの評価を全国の先生方からいただいております。

## 実施日はできるだけフレキシブルに

最上級生ともなれば、受験に向けた年間スケジュールは自白押し。

模試の開催日が指定されてしまっていると、講義・実習・研究発表など予定のやりくりも大変です。チャレンジテストでは「標準実施日」を広くとっており、お好きなタイミングでの受験が可能です。標準実施日以降の受験にも対応しております。

## 試験結果は国内最速でお届け

マークシートご提出後に返送する成績表は、紙とWebの2種類をご用意しました。

紙成績表は2週間ほどで、Web成績表は最短2日で閲覧が可能。

結果に対応した学習へと、スムーズに入ることができます。

## 詳細な解答・解説書

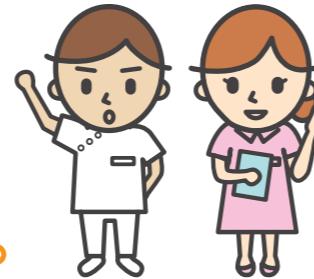
丁寧でわかりやすい解説により、解答を導き出すプロセスが理解できます。また、周辺知識や類似の過去問題も掲載。この冊子はまさに「国試対策問題集」と言っていいほど、充実した内容・ボリュームとなっております。



※表紙イメージは2018年のものです。

# チャレンジテストとは

2019年看護師国試の、  
出題基準・形式・内容に準拠。  
過去問題を踏まえつつも、  
最新の傾向に沿った模擬試験です。



国家試験では、切り口を変えて繰り返し出題される項目（テーマ）が多数あります。学研の模試チャレンジテストでは、看護師国家試験出題基準をもとに過去10年間に及ぶ出題項目を調査・分析して出題頻度を割り出し、年3回の受験により、頻出項目はもちろん、国試出題基準項目を網羅できるように構成しています。

240問×3回=720問すべてがオリジナルの新規問題です。過去十数年蓄積してきた看護学生の国試受験データ、模試受験データを活用し、ブラッシュアップしています。加えて、近年の国試の特徴である、アセスメント能力や読解力が求められる問題の作成については特に強化し、思考の過程を解説で詳しく解き明かし、正答に至るための情報の選択や消去法による解法について、わかりやすい説明を提示しています。

いずれも、長年にわたり国家試験対策に関わられた現職の看護学校の先生方、看護師の方々で組織された問題検討委員会による精査を経た問題で、国試過去問題を踏まえ、かつ、最新の傾向に沿った模擬試験です。

## チャレンジテストの編集方針

- ① 国家試験問題と類似性の高い問題を多数ご提供すること
- ② データに基づき厳選された良問であること
- ③ 解答・解説書を受験者の復習に役立つ充実した内容とすること
- ④ 克服すべき弱点など重要な情報がわかりやすい成績表をご提供すること

高品質な問題と解説に、ご期待ください！

## 毎年国試への的中は約80問！

過去、第107回国試におきまして、チャレンジテストの問題3回分から79問的中しました！ここに挙げました的是中問題は、酸素ボンベ、上部消化管内視鏡、生活習慣による肺気腫いずれも頻出の出題項目でありながら、この切り口で出題されたのは、第93回からの調査で初めてであり、国試の傾向を捉えた問題が多い事がうかがえます。

### チャレンジテスト的中問題の例

看護師国試合格チャレンジテスト	第107回 看護師国家試験
<b>第1回午後22</b> 酸素ボンベの取り扱い方法で正しいのはどれか。 1.火気および引火性・発火性のあるものを近くに置かない。 2.酸素ボンベは壁に立てかけておく。 3.日光の当たる場所に保管する。 4.酸素ボンベのバルブは、すぐに使用できるように常に開けておく。	<b>午前23</b> 充填された酸素ボンベの保管方法で正しいのはどれか。 1.横に倒して保管する。 2.保管場所は火気厳禁とする。 3.バルブを開放して保管する。 4.日当たりの良い場所で保管する。 
<b>第2回午後43</b> 上部消化管内視鏡検査について正しいのはどれか。 1.検査後に下血の観察をする。 2.体位は右側臥位とする。 3.検査終了後は、1~2時間は飲食を禁止とする。 4.前日の食事は低残渣食とし、午後9時以降は絶食とする。	<b>午前40</b> 上部消化管内視鏡検査について適切なのはどれか。 1.2時間前から絶飲食とする。 2.前投薬には筋弛緩薬を用いる。 3.体位は左側臥位とする。 4.終了直後から飲食は可能である。 
<b>第3回午後14</b> 喫煙習慣と最も関係が深いのはどれか。 1.肺腺癌 2.塵肺 3.肺水腫 4.肺気腫	<b>午前42</b> 生活習慣が発症に関連している疾患はどれか。 1.肺気腫 2.1型糖尿病 3.肥大型心筋症 4.重症筋無力症 



## 看護師国家試験対策を万全にする 3つのテスト

### 看護師国試合格チャレンジテスト

#### 最上級生向け 国試と同形式 240問×年3回

充実した執筆陣と弊社独自のデータベースによる詳細な分析により、毎年高い命中率を誇るチャレンジテスト。詳しい解説書も学生の理解を一段と深めます。

### 必修問題チャレンジテスト

#### 最上級生向け 必修150問

8割以上得点する力をつけるための必修問題に特化したテストです。チャレンジテストとの併用で、出題基準が網羅され最大の効果を発揮します。テスト理論を駆使し、良問の出題を実現しています。

### 基礎学力UPチャレンジテスト

#### 下級生向け 解剖・疾病・基礎看護がつながる100問

人体や疾病の知識を基礎看護学と関連付けて覚えられる構成が特長です。看護の土台となる重要な知識の定着が図れ、かつ基本的な考え方である「看護学概論」をしっかりと学べます。

詳細はP6へ

詳細はP10へ

詳細はP12へ